

令和元年度

業務における入札・契約制度に関するアンケート

報告書

目 次

1	調査の概要	
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の内容	1
(3)	調査の仕様	1
(4)	回収結果	1
(5)	集計上の留意事項	1
2	調査結果の詳細	
(1)	基本事項について	2
(2)	総合評価落札方式について	2
(3)	くじ引き落札の抑制対策について	4
(4)	成績重視型入札について	5
(5)	入札・契約制度全般に関する自由意見	5
3	資料	
(1)	業務における入札・契約制度に関するアンケート調査票	6
(2)	総合評価落札方式の技術評価項目比較表	11

1 調査の概要

(1) 調査の目的

昨年6月に「建設業法」、「入契法（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律）」及び「品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）」を一体として改正する「新・担い手3法」が成立したところであり、建設業の働き方改革、将来の担い手を確保するための動きがますます重視されているところです。

本アンケート調査は、本市の建設業の健全な発展や現場で働く方々の労働環境の改善に寄与する入札・契約制度の実現に向けて、現状の入札・契約制度の課題、問題点を把握するために実施したものです。

(2) 調査の内容

- ① 直近1年間の入札参加状況に関する項目
- ② 総合評価落札方式に関する項目
- ③ くじ引き落札の抑制対策に関する項目
- ④ 成績重視型入札に関する項目
- ⑤ 入札・契約制度全般に関する自由意見

(3) 調査の仕様

- ① 調査対象 平成30年12月1日から令和元年11月30日の期間において、業務の入札に参加した226社
- ② 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ③ 調査期間 令和元年（2019年）12月20日～令和2年（2020年）1月17日

(4) 回収結果

- ① 発送数 226
- ② 回収数（率） 159（70.4%）

(5) 集計上の留意事項

- ① 調査結果における構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答が可能な設問（問2-1）における構成比（%）は、回答数に対する割合ではなく、回答者数に対する割合を示しているため、合計が100%を超えます。
- ③ で囲われた選択肢は、選択肢の中で、最も回答数の多いものを示しています。
- ④ 自由意見、要望等については、主な意見等を抜粋して掲載しています。また、誤字等を修正し、文意を損なわない範囲で内容を要約しています。

2 調査結果の詳細

(1) 基本事項について

平成30年12月（令和元年度早期発注分）以降に、財政局契約管理課（交通局、水道局、病院局除く）発注業務に入札参加した業種・等級について、「○」を記入してください。

測量A	36	建築設計A	33	橋梁設計	25
測量B	39	建築設計B	11	設備設計	16
測量C	9	土木設計A	43		
地質調査	41	土木設計B	26		

(2) 総合評価落札方式について

【問1-1】貴社にとって、総合評価落札方式と一般競争入札（価格のみ）を比べた場合、入札参加意欲に違いがありますか。該当するものを一つお選びください。

- 1 総合評価落札方式の方が、入札参加意欲が高まる。…………… 23. 1%
- 2 総合評価落札方式でも一般競争入札（価格のみ）でも入札参加意欲に違いはない。…………… 57. 7%
- 3 総合評価落札方式の方が、入札参加意欲が低下する。…………… 19. 2%

【問1-2】本市では、昨年8月から、くじ引き落札の抑制策としても有効である、総合評価落札方式の発注を、「設計業務」にも、試行的に実施したところです。「設計業務」における総合評価落札方式の試行について知っていますか。

- 1 試行導入したことについて、知っている。…………… 68. 2%
- 2 試行導入したことについて、知らなかった。…………… 31. 8%

2 調査結果の詳細

【問1-3】総合評価落札方式は、くじ引きの抑制にもつながっており、今後も一般的な価格競争入札との発注バランスに配慮しながら拡大していく方針です。総合評価落札方式の拡大について、どう思いますか。該当するものを一つお選びください。

- 1 発注件数の拡大について賛成…………… 55.9%
- 2 一括審査方式（※）の拡大についてのみ賛成…………… 26.9%
- 3 その他（自由意見）…………… 17.2%

〈主な自由意見〉

- 発注件数の拡大について反対
- 当面の間は試行的な実施を継続し、評価項目等について検討してほしい。

※ 同一の入札参加資格で、評価項目を共通化した業務をグループ化して告示。開札順に、最も総合評価点が高い者を落札者として決定。落札者は以後に開札時間を設定している業務の入札が無効となり、グループ化した業務については、落札者が別々の企業となる。

【問1-4】総合評価落札方式について、現在設定している評価項目など、改善すべき点・要望等がございましたら、ご記入ください。

〈主なご意見やご要望等〉

- 受注が大手企業に集中しているため、幅広く受注できるよう評価項目等を見直してほしい。
- 受注機会の確保を図るため、総合評価落札方式による業務の履行状況の配点の見直しや受注制限の導入について検討してほしい。
- 成績点に関する評価項目の配点を上げてほしい。
- 継続教育（CPD）の取得状況について、配点の見直しや認定協会の拡大を検討してほしい。
- 表彰回数を評価対象としないしてほしい。
- 若手・女性技術者の育成状況を評価対象としないほしい。
- 過去3年間の災害対応等の活動実績について、評価対象となる協定・活動を広げてほしい。
- 配置予定技術者の手持業務量に上限を設けてほしい。
- 試行実施中の設計業務型について、数年間は試行実施を継続し、評価項目を検証してほしい。

2 調査結果の詳細

(3) くじ引き落札の抑制対策について

【問2-1】くじ引き落札を抑制するため、他都市では、以下のような対策を行っています。札幌市では、総合評価落札方式の拡大以外に、どのような対策を進めるべきと考えますか。該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- | | | | |
|---|---------------------------------|----|----|
| 1 | 積算に用いる単価等の一部非公開 | 6 | 3% |
| 2 | ランダム係数の導入(※1) | 10 | 7% |
| 3 | <u>くじ引き複数落札制限方式の導入</u> (※2) | 64 | 2% |
| 4 | 変動型最低制限価格方式の導入(※3) | 13 | 2% |
| 5 | 成績重視型入札のような、一定の入札参加資格を設定する入札の拡大 | 33 | 3% |
| 6 | くじ引きは、競争の結果なのでやむを得ないとする。 | 39 | 0% |
| 7 | その他(自由意見) | 7 | 5% |

<主な自由意見>

- 入札方式・業種・等級にかかわらず、同一開札日における受注件数は1件とすべきである。
- 一定期間内における同一業者の受注数に制限を設けるべきである。
- 入札参加資格を見直し、入札参加業者を減らすべきである。
- 最低制限価格の算出時に、各費目を千円単位ではなく、円単位で計上すべきである。
- プロポーザル方式を積極的に活用すべきである。
- 指名競争入札を導入すべきである。

※1 落札決定の基準となる最低制限価格に、システムで無作為に発生させた係数(ランダム係数)を用いて、「変動後最低制限価格」を算出する方式で、入札ごとに最低制限価格等は変動。ランダム係数(0.995~1.005)は、開札時に応札者に開示。

※2 同一業種・等級において、同一開札日にくじ引きにより落札できる件数を1件とする入札方式
例) 測量A等級でくじ勝ち → 同一開札日の測量A等級2件目でもくじ勝ち=2件目の入札は無効
測量A等級でくじ勝ち → 同一開札日の測量A等級2件目で通常落札=くじ勝ちではないので無効とはならない。

※3 実際の入札金額に基づいて、最低制限価格を算出する方式で入札ごとに最低制限価格は変動

2 調査結果の詳細

(4) 成績重視型入札について

【問3-1】測量及び設計業務の成績重視型入札について、令和元年8月21日以降の告示から、工事に併せ「2年型」を「3年型」に変更しましたが、入札参加に対する意欲に影響がありましたか。該当するものをお選びください。

- 1 入札参加に対する意欲が上がった。…………… 7. 7%
- 2 入札参加に対する意欲に影響はなかった。…………… 41. 9%
- 3 成績平均点が下がり、入札参加に対する意欲が下がった。…………… 12. 9%
- 4 成績重視型入札に参加していない。…………… 33. 5%
- 5 その他（自由意見）…………… 3. 9%

<主な自由意見>

○成績重視型入札に参加する意欲はあるが、成績平均点を有しておらず、入札に参加できない。

【問3-2】成績重視型入札に関するご意見やご要望等があれば記入してください。

<主なご意見やご要望等>

- 成績平均点の算出期間をなるべく短くしてほしい。
 検査員によって成績点にばらつきがあることから、評価基準を統一してほしい。
 成績平均点の算出方法を変更してほしい（平均ではなく最高点を採用/業務内容ごとに平均点を算出/他官庁業務の成績も考慮等）。
 「5年型」を新設してほしい。
 成績平均点を上げてほしい（品質確保・参加者厳選のため）。

(5) 入札・契約制度全般に関する自由意見

札幌市の入札・契約制度に関して、ご意見等ございましたら、記載願います。

<主なご意見等>

- 受注機会が確保されるように受注制限制度を導入してほしい。
 最低制限価格を引き上げてほしい。
 入札参加資格（同種業務の履行実績）を緩和してほしい。
 発注件数を増やしてほしい。
 指名競争入札を導入してほしい。
 開札から落札決定までの期間を短縮してほしい。
 業務内容が追加になった場合は、委託料を増額してほしい。